

## 2019年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

2020年3月31日

報告者	学科名	看護学科	職名	特任教授	氏名	二宮 一枝																												
研究課題	地域との協働による認知症カフェを用いた保健師教育の実践研究																																	
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担																													
	代表	二宮 一枝	看護学科・特任教授	公衆衛生看護	統括：企画・実施・評価																													
	分担者	親 雅子	東部北地域包括支援センター	地域看護	指導：カフェ運営 対象者への呼びかけ・継続支援及び参加費管理																													
		竹下あけみ	総社市長寿介護課・係長	公衆衛生看護	指導：認知症施策																													
研究実績の概要	<p>【目的】 地域との協働による認知症カフェを用いた保健師教育の実践を当事者・住民の視点で評価し、修士課程と学士課程の効果的な接続について検討した。</p> <p>【方法】 公衆衛生看護診断論及び同演習を4月～2月に開講し、講義とフィールドワーク（訪問・地区踏査等）とカフェの企画運営とを連動させ、一連の過程を CBPR（community-based participatory research＝コミュニティを基盤とした参加型リサーチ）により実施した。 ・昨年度当該科目を履修し単位取得したM2をカフェ当日にTAとして雇用し、屋根瓦方式により実施した。M2は保健師課程科目を履修したうえで、後輩を指導支援した。 ・地域包括支援センター職員は、対象者への呼びかけと参加費（1人1回100円）管理を行い、3職種（保健師、社会福祉士、介護支援専門員）と毎回企画会議を行い、実施記録を作成した。M1は議事進行・議事録作成を担当し、教員が確認したのち、地域包括支援センターに報告した。さらに、1年間の実践報告及び3か年（2017年度～2019年度）保存版を作成した。次年度の関係者への引継ぎ資料として活用予定である。</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>打合せ</th> <th>カフェ TA</th> <th>発表実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月10日（水）</td> <td>4月17日（水）</td> <td>5月：opu フォーラム発表</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6月12日（水）</td> <td>6月19日（水）</td> <td>8月：学部「地域保健福祉演習」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8月21日（水）</td> <td>8月28日（水）</td> <td>9月：地域包括ケアシステム学会発表</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月9日（水）</td> <td>10月16日（水）</td> <td>10月：日本公衆衛生学会発表</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12月11日（水）</td> <td>12月18日（水）</td> <td>12月：総社市「若年性認知症当事者による講演会」第二部で発表</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2月12日（水）</td> <td>2月19日（水）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								打合せ	カフェ TA	発表実績等	1	4月10日（水）	4月17日（水）	5月：opu フォーラム発表	2	6月12日（水）	6月19日（水）	8月：学部「地域保健福祉演習」	3	8月21日（水）	8月28日（水）	9月：地域包括ケアシステム学会発表	4	10月9日（水）	10月16日（水）	10月：日本公衆衛生学会発表	5	12月11日（水）	12月18日（水）	12月：総社市「若年性認知症当事者による講演会」第二部で発表	6	2月12日（水）	2月19日（水）
	打合せ	カフェ TA	発表実績等																															
1	4月10日（水）	4月17日（水）	5月：opu フォーラム発表																															
2	6月12日（水）	6月19日（水）	8月：学部「地域保健福祉演習」																															
3	8月21日（水）	8月28日（水）	9月：地域包括ケアシステム学会発表																															
4	10月9日（水）	10月16日（水）	10月：日本公衆衛生学会発表																															
5	12月11日（水）	12月18日（水）	12月：総社市「若年性認知症当事者による講演会」第二部で発表																															
6	2月12日（水）	2月19日（水）																																

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>①学生の学修成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント能力及び実践力を強化するために、参加者への事前訪問や地区踏査、データ分析など、保健福祉行政論演習、疫学演習、公衆衛生看護展開論・同演習と連動させ、総社市長寿介護課の協力を得て施策化能力やプレゼン能力の修得を図った。</li> <li>・この成果の一部は岡山県地域包括ケアシステム学会（9月・岡山市）及び日本公衆衛生学会（10月、高知市）でポスター発表した。</li> </ul> <p>②当事者・住民の視点からみた認知症カフェの評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からは大変好評で、次年度以降も継続し、できれば毎月開催の希望があった。</li> <li>・毎回、参加者感想ふまえてスタッフカンファレンスを行い、議事録を作成して共有した。</li> </ul> <p>さらに、学生・TAは、毎回リフレクションペーパーを提出し、フィードバックした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区踏査・訪問等により、関係住民の聞き取りや既存資料分析等については包括の助言指導を受けた。</li> <li>・集団指導としてのカフェの評価については、評価シートを作成し共有した。次年度の引継ぎとしても活用予定である。</li> </ul> <p>③3年間の実績をふまえた施策評価</p> <p>総社市長寿介護課、東部北地域包括支援センター、大学教員の共同研究者間で、総社市認知症カフェの実態を検討した。この1部については実践報告書に掲載した。介護保険事業評価及び市内関係職員との課題共有に活かす予定である。</p> <p><b>【今後の課題】</b></p> <p>学生（TA含む）の学修成果については、リフレクションペーパー等を用いた分析を行い、到達目標等に照らして検討する。学士課程との効果的な接続については、地域福祉演習に限定しない方法（有志の参加）や実質的な次年度の引継ぎの在り方を検討する必要がある。さらに、担当教員が交代するので、関係者間の合意形成をはかり、今般の指定規則改正に活かすことも課題として残されている。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>2019年度報告書及び保存版（2017～2019年度）を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、6月、8月、10月、12月、2月各回実施概要</li> <li>・院生M1及びTA（M2）の学び、地域包括支援センター感想</li> <li>・第4回岡山県地域包括ケアシステム学会発表（ポスター）</li> <li>・第78回日本公衆衛生学会発表（ポスター）</li> <li>・「丹野智文さんが総社に来ます！若年性認知症当事者による講演会」第二部「みんなでトーク」発表スライド</li> <li>・地域包括支援センターからみた認知症カフェの現状と課題アンケート調査結果</li> </ul>